

磐城時報

八夕 日刊
編輯 石城郡平町新屋町十四
印刷 石城郡平町新屋町十四
發行 石城郡平町新屋町十四
電話 一〇〇一
代印 石城郡平町新屋町十四
一 部 金 貳 圓 一 月 金 參 圓 五 十 錢
廣 告 料 一 行 十 四 字 貳 圓 五 十 錢
日 刊 一 行 十 四 字 貳 圓 五 十 錢

平驛の改築

愈々二十日から着工

丸山慶治氏に落札

平驛改築の請負入札は既報の如く各五厘値下げである。請負師間にブローカーが入つたため談合料の事から問題を生じたので鐵道省では入札を一時中止した上秘密裡に入札をなすため無期延期を發表したが、之が入札は昨七日東京鐵道局に於て請負者への通知を發して突然之を執行した結果、平町丸山慶治氏に工費四萬八千圓で落札した。工事は来る二十日頃まで平町往吉屋支店前に仮家を建て上直ちに着工し百十日間の豫定で七月迄には竣工の豫定である。生れかほる平驛は現在の敷地に約一尺の土盛りをなし跨線橋に至るまでの間の段々をなくしてその上に二階建の洋館を建て、二階は五十坪で電信、電話、休憩、會議の各室を造り下階は百三十坪である。而して待合室は跨線橋に接近した箇所とし改札口は橋の正面とする等の上の瘤だといふので平町當局で乗客には非常な便利となるわけは城山の町有地に之を移轉するやう交渉したいとの希望を持つてゐるが、最近同官舎は腐朽甚しき山土地の時價は坪二十圓位で白銀町附近は五十圓位でその差額を鐵道省に入れた上移轉料でも出せば承知するであらうか、さうなると三四十萬圓の金を要するわけで平町としては出来ぬ話である。

青年總會

新渡戸博士來平
石城青年團第三分團聯合總會下附されたので同村小學校に於ては新渡戸博士を招聘平町聚樂館で傳達式を行つた。

鐵道官舎の移轉は結局不可能事か

三四十萬圓はかかる
伏見平町長談

鐵道官舎は平驛前の場所であるが、之について伏見町長は語る。「鐵道官舎を城山方面に移す事は平町としても鐵道當局としても希望してゐる處である。然し鐵道省では城山の土地を提出しただけでは移轉しない事は明らかである。即ち城山の土地の時價は坪二十圓位で白銀町附近は五十圓位でその差額を鐵道省に入れた上移轉料でも出せば承知するであらうか、さうなると三四十萬圓の金を要するわけで平町としては出来ぬ話である。」

米麥の値段

平町米穀
商組合では五日よりグラムの小に迫られて来たのでこの際官舎賣値段を左の如く協定した。白を城山に移轉して白銀町附近を米は各五厘、麥は各一錢値上げ繁華な市街地にしたいといふ議

水戸觀梅 臨時列車

水戸運輸事務所では三月十日、七日午後十一時頃平町白銀町一丁目、同日、同日の三日間番地阿部憲治方に主人憲治が附日曜日であるため特に平水戸間近をば屋で飲酒中の不在に乘じて臨時列車を左の如く運轉し觀面をした年齢廿五六歳前後の梅客の便利をはかる事になつた。

肉切庖丁を持つて 覆面強盜押入る

普通の強盜ではあるまいと一般で觀測

驚いた!!!

こうまで安いとは
平・加納活版所の印刷物

魚を捕る

ダイナマイトで
勿來町今井芳太郎(三〇)は昨年九月茨城縣下の炭礦でダイナマイト五本、雷管五個を窃取し勿來町本間與助(四三)同町佐藤進(三九)の三名で川部村の四時川で漁獲した事發覺植田署に檢舉された。

第三校地鎮祭

平町第三小學校敷地地鎮祭は七日午後二時から同校敷地伏見平町長その他関係者出席の上山部正男氏祭主となり執行した。

債券販賣

三名捕はる
四倉町を中心に東京勸業銀行外資員と稱して偽造の勸業債券を賣り歩く三人組の青年あるを四(三九)の三名で川部村の四時川で漁獲した事發覺植田署に檢舉された。

早くも花見時の準備を急ぐ花柳界

平地方の春氣分

早くも花見時の準備を急ぐ花柳界

平地方の春氣分

列車内で財布を盗み 便所の中に隠匿

田村郡瀧根村大字眞谷郡廣司傷をうけたので六日平署に前記(三四)は警越西線大越驛から乗二名の男を相手とり傷害の告訴隠匿し平驛に來た處を驛前小林巡査に捕はれ目下取調中である

債券販賣

三名捕はる
四倉町を中心に東京勸業銀行外資員と稱して偽造の勸業債券を賣り歩く三人組の青年あるを四(三九)の三名で川部村の四時川で漁獲した事發覺植田署に檢舉された。

早くも花見時の準備を急ぐ花柳界

平地方の春氣分

早くも花見時の準備を急ぐ花柳界

平地方の春氣分

妓夫太郎 二名告訴さる

飯野村北白土農中野義光(二七)は五日午後八時頃一杯機嫌で平町鎌田遊廓に繰出し貸座敷大豆の前のをひやかし中些細の事から大豆の妓夫太郎木戸某と口論を始め大立廻りとなつた折から隣家の住吉樓の妓夫太郎がかけつけ應援したので義光は散々に毆打され全身に全治二週間の

債券販賣

三名捕はる
四倉町を中心に東京勸業銀行外資員と稱して偽造の勸業債券を賣り歩く三人組の青年あるを四(三九)の三名で川部村の四時川で漁獲した事發覺植田署に檢舉された。

早くも花見時の準備を急ぐ花柳界

平地方の春氣分

湯屋の雇女 湯銭をぬすむ

植田町静川温泉浴場森正熊次郎
方雇女須藤とく(二一〇)は十数回
に亘り湯銭九十余圓を胡摩化し
て貯蓄してゐた事發覺植田署に
捕はれた。

ハガキ集

(投書歓迎)

▲あるお座敷で一藝者曰く、
「早く身がかるには、何でも
も發展するのにかざるわ、隨
分運のよい人もあるのよ、
×さんなんか随分發展して居
たわ、それでも知らぬが佛で
受出す人もあるから運のよい
人にはかなわないのね……」
だ。(笑) (つ) (者)

マラリヤ病に 對する追憶

ブラジル・サンパウロから
増田重作(寄)

▲マラリヤに對する私の確信
私の體験したところによつて免
マラリヤ病は醫藥によつて免
れることは出来ない、一時的
には有効であつても根本的に
治癒はむづかしい、然らば如
何なる方法によるかといふに
一言に要約すれば「氣持よく
暮らす」ことである、之を今
少しく具体的に言ふと
▲寢室を別に建てる 其構造
を云ふと壁の外側はサベールを
以て覆ふこと、濕氣を防ぐ爲
である……寢室は多く壁側に
あるから、東及び南側に大き
な窓を一つ宛、西には出入口
同様の大きな窓を造り北側に
出入口をしつらへ全部カヤ張
りとし、天井及び壁の面は紙
張りとし、西側の天に長さ
六尺幅一尺の窓を造り(カヤ

を張ること)夜間における空
氣の流通を計ること。
寢室は三尺位の高さに各人別
別に造り病者あるときは床を
接近せしめぬこと、元來熱病
なれば相互の誘引性強く其恐
るべきことは蚊の媒介に比較
し又「シツパンサー」も媒介す
る様に思はれるからその豫防
の爲にも室内を紙張りにする
ことが必要と思ふ。
▲寢具を日光にさらす 一週
間に一度は必ず寢具を日光に

八日替新進巨篇封切

帝キネ獨歩 人間喜劇

運命判斷

小島洋々・藤田格 主演

白竜躍る

高木新平、小金井勝、環歌子
大林梅子、河上君江 助演

赤い谷から来た男

帝キネ特作 佐藤樹一路監督
明石線郎、松本三郎 主演

斷腸の劍

久のあかね 助演

有聲座

士生

さらす、寢具はグラマを刈り
厚く入れて下敷となし其上に
日本式蒲團を重ね、上に敷布
を掛け、被物はなるべく軽く
し殊に子供には蒲團をかけず
厚い布又は毛布位にして置く
こと、紙張りなれば夜間も温
度のげき變なし。着物は木履
と日曜に着更へ敷布を純白
にしておくこと、私は視察者
が何時見えても先づ第一に寢
室へ案内することが出来る位
にしてある。

鳥御料理

よせなべ類
天井
仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り
鰻 魚 榮
蒲焼
電話四二四番

共ト存共△
融金ノ易簡△
蓄貯ノ味趣△
堅ト意誠△
會商無城
電話四二四番

貸家あり

住宅向き
商店向き
委細面談
平町新川町
中野勇吉

瓶詰販賣満一週年記念

特撰賣出
壹升瓶詰 一本 壹圓四拾錢 (空瓶交換レツテル付)
壹斗樽詰 一本 拾貳圓 (樽ヌキ)
(但從來の瓶詰價格並に空瓶交換の方法は從前の通り)

第二十三回 産婆生徒募集

—無試験入學—
一、入學資格 高率以上の學力ある者
二、修業年限 一ケ年
三、申込期間 四月八日マデ
婦人にも職業の必要な時代が参りました
そして婦人に最もふさわしい職業は……産婆看護婦
収益も多大で又家庭の一助ともなる産婆看護婦をおす
め致します
◆希望の方は最も成績の良い
平町南町(電話三〇七番)
平産婆看護婦學校へ
校長 清野 さま

電球特賣

ススタノ半消電球
特賣 卅十燭十六燭 廿四燭 二十錢均一
卅二燭 五十燭 外ニマツタ電球
百燭 三十五錢 モアリモス
電話三十九番 大谷時計病院

耳鼻咽喉科

新築場所 合津醫院
電話五九五番

山崎合會社

東京支店
電話 下合五七二番
振替東京六八三二番

學生カバン 學生ボート

女學生用手提鞆
商業學校指定の
特製 手提げ鞆
平町四丁目
ツルヤ商店
電話百四十番

鎮咳液

最新滋強
回春劑
◎適應症 腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能
陰萎遺精、体力増進、新陳代謝等
平町專賣所 五丁目角 山野邊藥局